

# 光葉ワーキングクラブメールマガジン

<2018年6月号>

135号 2018.06.01 配信

深緑のなか、新潟総会が盛大に開催されました。お集まりいただきました皆様には、心から感謝申し上げます。また、会場を盛り上げてくださいました新潟県支部会員の皆様にも、重ねてお礼申し上げます。

## ■同窓会だより

### ◆『第45回 光葉同窓会総会』を新潟県で開催しました。

5月20日（日）、ホテル日航新潟「朱鷺」の間に、来賓並びに恩師13名を含め、270名が出席しました。総会に先立ち19日（土）には全国支部長会を開き、情報交換と懇親会を行い、交流を深めました。

#### <第1部 総会>

始めに比護和子会長より、「今後も同窓生の絆を大切に、同窓会の活性化、大学との連携、同窓生への応援に努めたい」と挨拶があり、来る創立100周年に向けた支援の呼びかけがありました。

続いて金子朝子学長より躍進する学園の姿が紹介され、文部科学省「経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援」で最高ランク「S」を取得したこと、本学と上海交通大学とのダブルディグリー・プログラム第1期生10名を輩出したこと、キャリアメンター制度が高い評価を受けたこと、7年連続で実就職率が女子大NO.1であること、新設された会計ファイナンス学科では、多くの受験生を集めたことなどが報告されました。

また学生に向けて、地域・企業との連携で行う実践的な授業を通して、それぞれの知識を知恵に変え、共感力を育んでほしいと抱負を述べられました。

#### <第2部 講演会>

坂東眞理子理事長・総長による「これからの昭和女子大学—女性の人生100年時代を生きる力を—」の講演がありました。

“現在、平均寿命が延び続けており、人生 100 年時代を迎えつつある。そうした中、人生の捉え方を変えなければならず、これまでの典型的な人生 80 年時代では、「教育→仕事→引退」という 3 つのステージで構成されていたが、これからは、何度も『学び直し』をしていくマルチステージの人生が求められている。

女性にとっての人生 100 年時代は、これまで以上に婚姻の分散化が進み、出産適齢期とキャリア適齢期のバランスが大事になり、新しい戦略が不可欠である。育児の分担や様々な助けを借りる才覚など、一つの価値観に縛られず、柔軟に対応しなければならない。また、子育て後の長い人生を「どう生きるか」という新しい課題もある。

長期間にわたる人生を充実させる為には、お金のような「有形資産」だけでなく、スキル、健康、人間関係、多様なネットワークなどの「無形資産」が大きな資産になり、正に

同窓会もソフトネットワークといえる。

女性は、卒業後就職するが、結婚、出産などで中断せざるを得ない時期もあり、これを乗り越える意志や知恵を教授することが、女子大学の使命と考える。その為にも本学は、入学後に学生を伸ばし、チャレンジ精神を応援し、積極的に学習に取り組み、誠実で、ベストを尽くせる学生を育てる大学でありたい。”と話されました。

### <第3部 懇親会>

先ず始めに、来賓の池田 弘氏 (NSGグループ代表) よりご祝辞を賜りました。池田氏は、1976年にNSGグループを創設し、翌年「新潟総合学院」を開校。現在36校の専門学校に加え大学、高等学校などの教育機関、病院、老人関連施設などを多数経営されています。職員総数は、10,000名強。管理職1,000名程の内、女性管理職は29%という高い数値を示し、池田氏は、日本経済の新しい転換期に、女性の活躍が大きな要因となるだろう。チャレンジ精神で、多くの女性起業家が生まれてほしい。期待している。」とエールを送られました。

終盤会場では、創立70周年を迎えた新潟県支部会員による「佐渡おけさ」が賑々しく披露され、おそろいの衣装も艶やかで、総会に華が添えられました。

#### ◆『光葉同窓会新潟ツアー 村上瀬波温泉』が行われました。

総会后、ツアー参加者(68名)は、江戸時代創業で純米酒のみを造る「酒蔵今代司」を見学し、瀬波温泉「大観荘せなみの湯」では、ゆっくりと旧交を温めることができました。

翌21日、イヨボヤ(鮭)会館の見学で、卒業生のお父様である館長の説明を受けました。おしゃぎり(山車)会館、若林家住宅、村上歴史文化館の自由見学、ガイドによる城下町村上の町屋散策をし、昼食は、卒業生が経営する「割烹 新多久」で、素材にこだわったお料理に舌鼓みをうち、丁寧なおもてなしを受けました。1945年に村上管内14の蔵元が合併した大洋酒造では、純米吟醸などの試飲をしました。充実したツアー内容を満喫しました。

(文責：松本)

#### ◆光葉同窓会生涯学習 パソコン入門講座 一写真をビデオに編集しよう一

講師：田中 均准教授(人間社会学部現代教養学科) 会場：本学8号館6階コンピュータ室

・第1回 6月9日(土)・第2回 7月21日(土) 10:00~11:30 参加費：2,000円

#### ◆光葉同窓会学年幹事会を開催します

6月16日(土)13時から、本学学園本部館大会議室において行いますので、幹事の皆様には、ご出席くださいますようお願いいたします。

### ■学園だより

○6月17日(日) 第2回オープンキャンパスが開催されます。(10:00~15:00)

○光葉博物館 展覧会ご案内 「図書館70周年・近代文庫60周年記念 ことばのいろ

ことばのおと~人見東明と白秋・露風の詩の世界~」6月1日(金)~6月30日(土)

休館日：日曜日 ただし6月17日(日)は、開館

## ■広げよう光の葉

伊藤 正子さん

1997年 文学部日本文学科卒（埼玉県支部）

「世の光となろう」在学中は、この言葉をあまり意識したことはありませんでした。自分に何が向いているかわからず、卒業後は悩みながら児童養護施設に就職しました。児童養護施設では、虐待を受けた子どもたちと寝食を共にしました。とても大変な仕事で無我夢中で働いていました。結婚を機に退職し、その後は夫や自分の両親の介護や子育てに追われていました。

第二子の幼稚園入園と同時に東京国際大学の大学院に進学し、臨床心理士の資格を取りました。いよいよカウンセラーとして働こうとしていた時に、母がお世話になった施設を運営している市議会議員の方に市議会議員にならないかと声をかけられました。

2015年の統一地方選挙に初挑戦し、当選しました。無所属の女性議員は珍しいということで、その時の様子を東京新聞が取材してくれました。

大学在学中は、日本文学科で児童文学や日本語教育について学び、国語の教員免許や司書の資格を取りました。川越市に正岡子規の句碑があり、槍田良枝先生に足を運んでいただき、ご指導いただいたこともあります。他にも卒業してからも気にかけてくださる先生がいらっしゃり、大変感謝しています。

市議会議員として介護や子育ての経験を活かし、市民目線と専門知識でがんばっています。活動の原動力は大学で学んだこと、恩師や同窓生の応援があるからだと思っています。子どもや少数派の人たちは声をあげにくいです。

日本の市町村議会（1731議会）の5つに1つは女性議員がひとりもいません。5月16日に「政治分野における男女共同参画推進法」が参議院本会議において全会一致で可決、成立しました。衆参両院や地方議会の選挙で、男女の候補者数ができる限り均等になるよう政党や政治団体に努力義務を課しています。

わたしは、よく「例えば、子宮がんや妊娠・出産の支援について決める場に女性がひとりもいないんですよ。」と、女性0（ゼロ）議会の説明をします。女性0議会がひとつでも減り、女性議員がひとりでも増えるための活動にも取り組んでいます。

大学では、女性でも生き生きと楽しく学べました。社会に出てからは悔しい思いをすることもあります。しかし、がんばってきて良かったと思えることもたくさんあります。「世の光になろう」自分になにができるかわからないけれど、与えられた場で一生懸命がんばる。その基礎となっているのは昭和女子大で学んだことであり、同窓会の活動にパワーをもらっています。毎年の支部会や同窓会の会合がとても楽しみです。ぜひ、みなさんもお会いできるのを楽しみにしています。

【End】